

敬老パス

5月20日に開催された健康福祉・病院経営委員会において、敬老パスについての報告が行われました。立花健康福祉局長の報告、関美恵子議員の質問と答弁について、ご報告します。

局長：市民全体に広く広報を行い、幅広く意識調査を実施したい

立花健康福祉局長：本件につきましては、昨年末よりご審議をお願いをしておりまして、3月16日の本委員会で意見募集のアンケート実施について説明をしたところでございます。いろいろさまざまご意見をいただきました。

当局といたしましては、これまでの経過も踏まえまして、制度の見直しに関する議論を進めるにあたって、改めて事業の現況と課題を市民全体に広く広報を行うなどした上で、3案の是

非を問うのではなくて、対象者の要件ですとか利用者負担の在り方などについて、幅広く意識調査を実施をしたいというふうに考えております。この意識調査の結果を参考としまして、今後見直し案の精査をしてみたいというふうに考えておりますので、今後とも市会のみなさまのご協力とご理解をお願いを申しあげたいというふうに思います。

局長：3案反対は関先生だけ、調査は行政の責任でやる

関議員（3案についてどういう扱いにするのか、市民意識調査の調査項目はいつごろ示されるのかについて質問）

立花健康福祉局長：…3案反対だというふうに

おっしゃったのは関先生だけだと思いますけれども。（他会派の議員が笑う）

（調査項目の）中身については、これは行政の責任でやる調査だと思っておりますので…

局長：まず広報で現状お知らせ、8月以降に3万人規模の調査

関議員（市民意識調査の調査項目はいつごろ示されるのかについて質問）

立花健康福祉局長：実施は、まず広報なんかを活用して、いろいろ現状がこうなってますというのをお知らせをして、そのあとで8月ぐらいにあるいはそれ以降になっちゃうかもしれないけれども、調査をしてみたいというふうに考

えております。規模は、前回の委員会で申し上げましたけれども、3万人規模ぐらいの調査をしていきたいなというふうに思っております。

他に、ネットワーク横浜の荻野恵子議員が横浜市交通政策推進協議会と福祉局との関わりについて質問しました。

市議選までは敬老パス問題は棚上げか

今回の委員会で、敬老パスの報告は、議題の「その他」の中で行われ、口頭での説明でした。また、3月の同委員会では、敬老パス制度の改定について全会派が質問し、意見を述べ、委員長の発案でスケジュール案の回収まで行ったのに、今回の委員会で発言したのは、関議員と荻野議員だけでした。

これらのことから、敬老パス制度の改定については、委員会の前に当局と他会派の間で、来春の市議選までは敬老パス問題は棚上げし、選

挙後に具体化することが合意されていたと推察されます。

当初の今秋に条例改悪し、来年10月から実質値上げの予定が先延ばしになったのは、市民の運動の反映です。しかし、市は制度改悪の基本方針に固執しています。

現状維持を求める運動を一気にひろげるとともに、現在の敬老パス制度を守ってくれるのはだれかを、広く訴えていくことが大切だと思われます。